

ぎかいの話題

決算特別委員会を設置し、 令和3年度会計の決算を審査しました

9月議会において、議員全員で構成する決算特別委員会（平山光子委員長、江上しほり副委員長）を設置し、令和3年度の各会計決算関係議案7件について、9月20日から26日までの間で審査を行いました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関する事、地域防災力の強化に関する事、移住定住促進事業に関する事、ふるさと納税に関する事など、幅広い視点から議論を交わしました。

その後、決算特別委員会における43項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書を取りまとめて、9月議会最終日に全ての各会計決算を認定しました。

令和3年度各会計決算の概要

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		649億7,942万円	640億6,439万円
特別会計	国民健康保険	148億9,505万円	141億8,756万円
	介護保険	139億3,012万円	134億6,782万円
	後期高齢者医療	20億1,466万円	19億7,591万円
	病院事業債管理	13億4,129万円	13億4,129万円
事業会計		収益的収入	収益的支出
水道事業		28億5,586万円	24億6,670万円
公共下水道事業		40億1,452万円	32億8,471万円

(1万円未満四捨五入)

主な意見・要望(抜粋)

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

コロナ禍から市民の命・暮らしを守るとともに、事業の継続や住民福祉の増進に資するよう有効活用してほしい。

●地域防災力の強化

地域の自発的な取組が大切であることから、校区まちづくり協議会の後継者不足や町内公民館の加入率低下が進む中でも自主防災組織が立ち上げられるよう、予算措置するなど支援してほしい。

●移住定住促進事業

移住定住につながる環境をつくるため、他部署との連携による事業の推進を図ってほしい。

●ふるさと納税

寄附金の目標金額を高く掲げ、先進自治体の研究を行いながら、他の自治体で多く取り扱われている県産品を返礼品としてさらに多く取り入れるなど、目標達成に向けて努力してほしい。

●動物愛護啓発事業

高齢者及び独り暮らしの市民が急に飼育できなくなった時の対策や、多頭飼育に陥らないための早期の対策など、相談を受けてアドバイスができる窓口の設置などを検討してほしい。

●口腔の健康維持

口腔の健康維持は、健康な生活を送るために重要であり、歯質を強化する効果のあるフッ化物洗口も有効な手段の一つであることから、周知を図るとともに乳幼児期から小中学生まで継続した取組を検討してほしい。

●スマート農業の推進

スマート農業の推進は、担い手・後継者不足などの課題に対する有効な手段の一つであることから、引き続き、事業の周知や講習会等を実施するとともに、機械導入に対する補助を行うなど支援を継続してほしい。

●民間プール活用モデル事業

学校のプールを使用する授業と同様に、教育の視点に立った水泳授業を全中学校で格差なく継続できるのかを検証してほしい。

●学校ICT活用推進事業

教職員のスキルの習熟度を成果指標にしてほしい。また、ICTの利活用により、教職員の事務作業などの効率化を図り、子供の個別最適な学びが進められるように努めてほしい。

●空家等対策推進事業

利用可能な空き家等の物件数が不足していることから、空き家等の提供に伴う家財道具等の処分に関する支援策を検討し、空き家等の利活用が進むよう積極的に取り組んでほしい。